

<サブクエスト①のシナリオ【ドラゴンボール】>

<窪木 海>

★ひとつのセリフの文字数制限は「26(文字) × 2 行」

■<A>■

●<自宅>

自宅内の入り口付近に立っている悟飯。

悟飯「さて ビーデルさんが来る前に

修業の準備を始めようかな」

悟飯「あれ？ 悟天はもう… 家を出たのかな？」

悟飯「(とりあえず悟天と合流しよう)」

家から出ていく悟飯。

フリー移動へ。

↓

[フリー移動]

操作キャラクター:<孫悟飯>

目的表示:<パオズ山>にいる孫悟天の元へ向かおう。

<パオズ山>にいる悟天に話かけると、次のイベント開始。

↓

■■

●<パオズ山>

こちらに背を向け、ひとり立っている悟天。
悟飯がやってくる。

悟飯「お いたいた
おーい 悟天」

悟天、悟飯に気がついて振り返る。

悟天「あ！ にいちゃん！
もう待ちくたびれちゃったよ～」
悟飯「はは ごめんごめん」
(と後頭部をさする)

悟飯「それにしてもこんな早くからどうしたんだ？
まだ修業をはじめるには早いし……」

悟天、俯いて少し悩む仕草。

悟天「……にいちゃん！！」
悟天「一回でいいからさ！
ボクと本気で闘ってよ！」
(と身体を乗り出す)

悟天「だってにいちゃん
いつもあのおねえちゃんにつきっきりなんだもん」
悟天「このままじゃボク
天下一武道会でトランクスくんには勝てないよ～」

再び俯く悟天。

悟飯「(たしかに…悟天の気持ちもわかる気がするな)」

悟飯「(まだビーデルさんが来るまで時間はあるし…
どうしようかな……)」

腕を組み、考えこむ悟飯。

【選択肢発生】

「相手をしてやるか」を選んだら<a1>へ

「今はやめておこう」を選んだら<a2>へ

■<a1>■

●<パオズ山>

悟飯「よし わかった！ にいちゃんが相手になってやるよ」

悟天「え いいの！ わーい！！」

悟天、超サイヤ人に変身。

悟飯「ただしビーデルさんが来るまでだよ
いいね？」

悟天「うん！」

悟飯、構える。

悟天、構える。

<C>のバトルへ。

■<a2>■

●<パオズ山>

悟飯「うーん 悪いけど今は少し用があるから
もう少し待ってもらえないかな」

悟天「えー！？ 用事が済んだらちゃんと相手してよね！
待ってるから！」

フリー移動へ。

(再び悟天に話しかけると、修業の催促をされるので同じように選択肢が発生。
「相手をしてやるか」を選ぶまで同じことの繰り返し)

■<C>■

●<パオズ山>

[バトル]

※<孫悟飯> vs <孫悟天>

バトルステージ: <パオズ山>

<バトル開始直後>

悟飯「さあ！ 全力でかかってこい 悟天」

悟天「にいちゃんも手加減なしだからね！」

<バトル終盤:相手のライフが半分以下>

悟飯「どうした 悟天！

 こんなじゃ にいちゃんには敵わないぞ？」

悟天「まだまだ！

 ボクの本気はこんなもんじゃないからね！」

<ピンチ:プレイヤーのライフが半分>

悟飯「(くっ… これは油断してられないや)」

悟天「へへっ にいちゃん！ どんどんいくからねー！」

<戦闘勝利>

悟飯「よし！ 悟天！ そこまでだ！」

敗北…<b1>へ。

勝利…<b2>へ。

■<b1>■

●<パオズ山>

少し疲れた様子で息切れしている悟飯。

悟天は元気そうに立っている。

悟飯「(まさかここまでやるとはなあ…
ちょっと油断しすぎたかもしれない)」

悟天「こんなんじゃ物足りないよ～」
ちゃんと本気でかかってきてよね！」

(一度、フリー移動に移行し、再び悟天に話しかけるとバトルが発生。
バトルを勝利しないと先に進まない)

<悟天にもう一度話しかけると>

悟天「準備はいい？
おもいきりいくよー！」

再びバトルへ。

■<b2>■

●<パオズ山>

疲れた様子で座り込んでいる悟天。

その前に立つ悟飯。

悟天「いてて… やっぱりにいちゃんは強いや」
悟飯「はは でも悟天もなかなかいい動きだったぞ？」

悟飯「それじゃあビーデルさんが来るまではいったん休憩だ」

悟天「でも… おねえちゃん遅いね

いつもならもう来てる時間なのにね？」

悟飯「たしかに…… 遅れるなんて珍しいな…」

(とあごを触って考える)

悟飯「もしかしたら連絡が来てるかもしれない

いったん家に戻ってみるか」

フリー移動へ



[フリー移動]

操作キャラクター: <孫悟飯>

仲間キャラクター: <孫悟天>

目的表示: <自宅>に戻ってみよう。

<自宅>の中に入ると、次のイベント開始。



■ <D> ■

● <自宅>

自宅に入ってくる悟飯と悟天。

チチはテレビのニュースを見ている。

TV アナ「サタンシティ内で発生した銀行強盗の犯人は
現在 複数のルートに分かれて逃亡中です」

チチ、悟飯たちの方へ振り向く。

チチ「また事件みたいだなあ
物騒な話だべ」

悟飯「…ビーデルさん
また事件の解決に繰り出されてるのかな」

悟飯「よし ボクもサタンシティに行って 手伝ってくるよ」

悟飯「犯人が複数に分かれてるんじゃ
ビーデルさんも苦労しているだろうし」

チチ「わかっただ 気をつけるだぞ」

悟天「ボクも一緒に行くよ！」

身体を乗り出す悟天。

悟飯「いや 危険だから悟天は待っていた方がいいよ」

チチ「んだ 悟天はオラとお留守番だ！」

悟天「ちえ～ わかったよ～」

残念そうに俯く悟天。

グレートサイヤマンに変身する悟飯。

悟飯「それでは！
グレートサイヤマン出動！」

フリー移動へ。

↓

[フリー移動]

操作キャラクター: <孫悟飯(グレートサイヤマン)>

目的表示:<サタンシティ>へ向かおう。

<サタンシティ>にいる警官に話しかけると、次のイベント開始。



■<E>■

●<サタンシティ>

警官の元に舞い降りる悟飯。

警官「おお！ グレートサイヤマン」

悟飯「なにやら強盗犯が逃げているそうじゃないか

現在の状況は？」

警官「ああ それならご安心ください」

警官「ビーデルさんの協力のおかげで

犯人もほとんど捕まらせてね」

警官「もうじきカタがつくころでしょう」

悟飯「(それなら安心だ

ボクの出る幕はなさそうかな…)」

遠くから突然大きな爆発音が。

驚いて音の方向を見る悟飯と警官。

悟飯「！」

警官「あわわ… こいつは大変なことになったぞ…！」

悟飯「(今の爆発の方向からビーデルさんの気も感じる…！)」

悟飯「わたしはすぐに現場へ向かう！

この場は引き続き任せたぞ！」

警官「了解しました

どうかお気をつけて！」

悟飯、飛び立っていく。

フリー移動へ。



[フリー移動]

操作キャラクター: <孫悟飯(グレートサイヤマン)>

目的表示: 爆発の起こった場所へ向かおう。
ビーデルに近づくと、次のイベント開始。



■ <F> ■

● <サタンシティのはずれ>

疲弊した様子のビーデル。
その前には銀行強盗たちと彼らの出した戦闘用ロボ。
悟飯がビーデルの前に舞い降りる。

ビーデル「…グレートサイヤマン！」
悟飯「さあ ここからはこのわたしが相手になろう！」
強盗「かまわねえ！
まとめてやっちまいな！」
ビーデル「気をつけてね あのロボット なかなかやるわ…！」

構える悟飯。
バトルへ。

[バトル]

※<孫悟飯(グレートサイヤマン)> vs <銀行強盗(戦闘用ロボ)>

バトルステージ: <サタンシティのはずれ>

<バトル開始直後>

悟飯「おまえたちのような悪党は このわたしが成敗してやる！」

悟飯「(でも 派手にやりすぎないように 気をつけなきゃな…)」

<バトル終盤:相手のライフが半分以下>

悟飯「このまま一気に決めてやる！」

ビーデル「サイヤマン 油断は禁物よ！」

<ピンチ:プレイヤーのライフが半分>

強盗「オラオラ！」

どうした？ グレートサイヤマンさんよ～！」

悟飯「くっ… もう少し全力でかからないと…！」

<戦闘勝利>

悟飯「よし！ …正義の目からは 逃れることはできないのだ！」

敗北…<c1>へ。

勝利…<c2>へ。

■<c1>■

●<サタンシティのはずれ>

対峙している悟飯、ビーデルと強盗、戦闘用ロボ。

強盗「ちっ 厄介な連中だな

こうなったら このメクラマシモードとやらで！」

戦闘用ロボの目が赤く光る。

画面が一瞬ピカッと光った後、真っ暗に。

ビーデル「眩しい！」

悟飯「まるでクリリンさんの太陽拳みたいだ…！」

強盗「へへ あばよ！」

画面が元に戻る。

強盗と戦闘用ロボは姿を消している。

ビーデル「しまった！ やつら 逃げたわ！」

悟飯「まだやつらはそう遠くには行ってないはずだ

すぐに追いましょう！」

(一度、フリー移動に移行し、再び強盗を見つけるとバトルが発生。

バトルを勝利しないと先に進まない)

〈強盗にもう一度近づくと〉

強盗「また来やがったのか 懲りないヤロウだぜ！」

再びバトルへ。

■<c2>■

●<サタンシティのはずれ>

悟飯の一撃により、戦闘用ロボが破壊され、爆発。

強盗たちも、ひとりを除いて倒れている。

残された強盗の前に立つ悟飯。

悟飯「さあ 無駄な抵抗はやめるんだ！」

強盗「へへ… これならどうだ！」

強盗、近くにいた子供を人質に取り、銃を向ける。

(子供の顔ははっきり映っていない)

強盗「どうだ！ これでもう手出しはできねえぜ！？」

平然とした様子で立っている悟飯とビーデル。

強盗「ほ 本当の本当に撃ちまうぞ！」

悟飯「……」

ビーデル「…やめておいた方が良いわよ」

人質に取られた子供の顔がはっきり映り、悟天だと判明。

悟天、強盗をキック一発で吹っ飛ばす。

強盗「なにいいい!？」

倒れる強盗。

悟天「あれ たいしたことなかったや」

悟飯とビーデル、悟天の方に近づく。

悟飯「こら 悟天！ 来ちゃダメだって言ったろ？」

おかあさんも心配してるぞ？」

悟天「ごめんなさい～

でも にいちゃんだけヒーローなんてずるいよ～」

ビーデル「まあ良かったじゃない 無事解決したんだし」

ビーデル「ふたりのおかげで 事件が早く片付いたわ

ありがとう！」

悟天「へへ～」

頭の後ろで手を組み、喜ぶ悟天。

悟飯「このサイヤマンにかかれば お手のものですよ」

ビーデル「それにしても やっぱりその強さは異常よ

下手したらパパにも匹敵するんじゃないかしら？」

ビーデル「それに…まだ色々ヒミツも隠してそうだしね

さあ！ 遅くなったけど早速修業の続きよ！」

悟天「お——！！」

悟飯「(やれやれ…

ふたりとも本当に張り切ってるなあ はは……)」

<了>